



# 平成17年3月期 第3四半期財務業績の概況 (連結)

平成17年1月27日

会社名 スズデン株式会社

(コード番号 :7480 東証第二部)

(URL <http://www.suzuden.co.jp/>)

問い合わせ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長  
責任者役職・氏名 取締役上席執行役員

鈴木敏雄  
鈴木茂

TEL (03) 5689- 8001

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産

(2)無形固定資産

法人税等の計上基準

年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

法定実効税率をベースとした年間予測税率により

計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更 : 無  
の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

## 2. 平成17年3月期第3四半期の業績概況 (平成16年4月1日～平成16年12月31日)

### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	31,237	( )	898	( )	1,081	( )	625	( )
16年3月期第3四半期	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
(参考)16年3月期	37,222	( 9.1 )	817	( 177.1 )	1,028	( 96.9 )	538	( 168.6 )

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	43	98	43	69
16年3月期第3四半期	( )	( )	( )	( )
(参考)16年3月期	36	11	( )	( )

(注) 1. 当四半期(平成16年4月1日～平成16年12月31日)は開示初年度であるため、前年同四半期との数値比較は行っておりません。

2. (参考)16年3月期の売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率を示しております。

### [経営成績(連結)の進捗に関する定性的情報等]

当連結第3四半期(平成16年4月1日～平成16年12月31日)における当企業集団を取り巻く環境は、中間連結会計期間末までのデジタル家電等の生産高の増加を受けた設備投資が、IT・デジタル家電分野を中心とした在庫調整の影響で下期以降は一服し、景気に減速感が出てまいりました。

また、雇用環境の改善、オリンピック効果などにより穏やかに増加した個人消費も企業の景況感一服の影響を受け、やや変調が見えてまいりました。

当企業集団の主力市場であるFA機器及び電子部品業界におきましては、半導体製造装置関連機器メーカー及び液晶関連機器メーカー等の生産活動は好調に推移いたしました。

建設業界におきましては、政府建設投資、民間住宅投資、工場設備需要等の増加とあいまって若干の回復の兆しが見られます。

こうした環境のもと営業部・営業所の新設、顧客深耕等による営業力強化とローコストオペレーションに努めてまいりました結果、当連結第3四半期の売上高は312億37百万円、経常利益10億81百万円、四半期純利益は6億25百万円となりました。

(2)財政状態の変動状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	24,688	12,716	51.5	901 88
16年3月期第3四半期				
(参考)16年3月期	23,694	12,567	53.0	871 19

(3)連結キャッシュ・フローの状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	954	103	450	3,789
16年3月期第3四半期				
(参考)16年3月期	179	193	317	3,381

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報]

財政状態の変動状況

総資産は9億94百万円増加いたしました。これは主に、流動資産の増加10億7百万円によるものであり、その内訳は現預金の増加4億8百万円、受取手形及び売掛金の増加4億82百万円、たな卸資産の増加2億41百万円等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億54百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益11億46百万円、減価償却費73百万円、仕入債務の増加9億69百万円等に対し、売上債権の増加4億45百万円、たな卸資産の増加2億41百万円、法人税等の支払5億78百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億3百万円の減少となりました。これは、前期に実施した社内情報インフラ整備の未払分60百万円の支払と営業所敷金5百万円、営業用保証金26百万円の差入等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億50百万円の減少となりました。これは、配当金支払2億92百万円、自己株式の取得1億64百万円によるものです。

(参考)

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	42,530	1,550	850

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 60円 28銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成16年11月15日発表の通期の業績予想に変更はありません。

[添付資料]  
(要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	増 減		(参考)
	(平成17年3月期 第3四半期末)	(平成16年3月期 第3四半期末)	金 額	増減率	平成16年3月期 金 額
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金	3,789,994				3,381,305
2. 受取手形及び売掛金	12,842,714				12,359,785
3. たな卸資産	1,470,118				1,228,313
4. その他	294,626				464,492
5. 貸倒引当金	61,168				105,313
流動資産合計	18,336,285				17,328,582
固定資産					
1. 有形固定資産	4,893,623				4,929,689
2. 無形固定資産	145,327				154,002
3. 投資その他の資産	1,552,217				1,555,903
4. 貸倒引当金	239,373				274,113
固定資産合計	6,351,795				6,365,483
資産合計	24,688,081				23,694,065
(負債の部)					
流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	7,389,503				6,417,996
2. 短期借入金	1,900,000				600,000
3. その他	850,405				987,743
流動負債合計	10,139,908				8,005,739
固定負債					
1. 長期借入金	450,000				1,750,000
2. 退職給付引当金	1,071,502				1,064,617
3. その他	309,889				306,236
固定負債合計	1,831,391				3,120,853
負債合計	11,971,300				11,126,592
(少数株主持分)					
少数株主持分					
(資本の部)					
資本金	1,819,230				1,819,230
資本剰余金	1,527,493				1,527,493
利益剰余金	9,750,355				9,436,140
その他有価証券評価差額金	70,542				81,926
為替換算調整勘定	16,108				20,448
自己株式	434,731				276,870
資本合計	12,716,780				12,567,472
負債、少数株主持分及び資本合計	24,688,081				23,694,065

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	当 四 半 期 (平成 17年 3月期 第 3 四 半 期)	前 年 同 四 半 期 (平成 16年 3月期 第 3 四 半 期)	増 減		(参考) 平成 16年 3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	31,237,940				37,222,086
売上原価	26,557,773				31,540,396
売上総利益	4,680,166				5,681,689
販売費及び一般管理費	3,781,369				4,864,605
営業利益	898,797				817,084
営業外収益	243,296				289,493
営業外費用	60,851				77,943
経常利益	1,081,241				1,028,634
特別利益	66,261				15,661
特別損失	1,193				7,391
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,146,309				1,036,905
税金費用	521,000				498,716
四半期(当期)純利益	625,309				538,188

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

## (3) 四半期連結剰余金計算書

(単位:千円)

区 分	当 四 半 期 (平成 17年 3月期 第 3 四 半 期)	前 年 同 四 半 期 (平成 16年 3月期 第 3 四 半 期)	(参考) 平成 16年 3月期
	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,527,493		1,527,493
資本剰余金四半期末(期末)残高	1,527,493		1,527,493
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	9,436,140		9,013,195
利益剰余金増加高	625,309		538,188
1. 四半期(当期)純利益	625,309		538,188
利益剰余金減少高	311,095		115,243
1. 配当金	292,854		115,243
2. 取締役賞与金	18,000		
3. 自己株式処分差損	240		
利益剰余金四半期末(期末)残高	9,750,355		9,436,140

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

## (4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当 四 半 期 (平成17年3月期) (第 3 四 半 期)	前 年 同 四 半 期 (平成16年3月期) (第 3 四 半 期)	(参考) 平成16年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	1,146,309		1,036,905
2. 減価償却費	73,878		98,573
3. 売上債権の増( )減額	445,844		1,404,435
4. たな卸資産の増( )減額	241,655		76,000
5. 仕入債務の増・減( )額	969,900		1,047,059
6. その他	42,099		94,345
小 計	1,544,688		796,446
7. 法人税等の支払額	578,174		600,314
8. その他	12,388		16,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	954,125		179,223
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	78,146		282,717
2. 投資有価証券の売却による収入	39,670		32,049
3. その他	64,680		57,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	103,156		193,358
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入れによる収入	200,000		400,000
2. 短期借入金の返済による支出	200,000		400,000
3. 配当金の支払額	292,854		115,243
4. その他	158,102		432,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	450,956		317,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,676		5,227
現金及び現金同等物の増・減( )額	408,689		298,221
現金及び現金同等物の期首残高	3,381,305		3,083,083
現金及び現金同等物の期末残高	3,789,994		3,381,305

注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

## (5)セグメント情報

### 1.事業の種類別セグメント情報

当企業集団は、FA機器、情報・通信機器、電子・デバイス、電設資材等の販売を主としており、製品の種類・性質、販売市場等の類似性から判断して、単一事業と考えられるため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

### 2.所在地別セグメント情報

当四半期及び前連結会計年度における全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

### 3.海外売上高

当四半期及び前連結会計年度における海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(参考資料)

[販売の状況]

(単位:千円)

	当 四 半 期 (平成17年3月期 第3四半期末)
区 分	金 額
F A 機 器	16,325,223
情 報 ・ 通 信 機 器	4,399,962
電 子 ・ デ バ イ ス	2,234,887
電 設 資 材	8,277,866
合 計	31,237,940

[平成17年3月期第3四半期の商品分野別業績コメント(連結)]

#### FA機器分野

企業収益の改善と個人消費の回復によるデジタル家電・デジタルカメラ等の生産高の増加や設備投資により、半導体製造装置関連機器メーカー、液晶関連メーカー等への販売が好調に推移し、売上高は163億25百万円となりました。

#### 情報・通信機器分野

個人向け販売の回復には遅れが見られますが、産業用機器組込みボードや法人向けパソコン並びに周辺機器等の販売が順調に推移し、売上高は43億99百万円となりました。

#### 電子・デバイス分野

半導体製造装置関連機器メーカー、液晶関連メーカー等への販売が順調に推移し、売上高は22億34百万円となりました。

#### 電設資材分野

一般建設、工場新設ともに低調であるものの、秋葉原地区再開発需要並びにリニューアル需要・工場設備需要等への販売力強化により、売上高は82億77百万円となりました。